

来春には浄化設備

新目望
水俣 工場排水問題で回答

水俣病禍で漁業不振に悩む熊本沿岸漁業振興対策協議会は、さる八日新日鑑水俣工場に「水俣市八幡（水俣川河口）の工場排水の即時中止」を要望していたが、十二日西田工場長、石野次長、久山総務部長が熊本町を訪れ、郡内町村長、議長にさまの要望に対し、つぎのように回答した。

「いう要望なので会社も研究の結果、来年三月末に排水浄化設備が完了するのでそれまで応急措置として現在放出している排水を再使用するじゅん濺設備を今月末までに完成する。これにより五〇トの放出にとどまると思う。さらに研究を重ね排水ゼロ

まで努力する。

これに対し各町村長、議長団は会社の誠意ある努力を認め了承した

水俣市八幡に流している排水はカーバイド残さいとススなど一時間に三百トを放出しているが、沿岸漁民の排水ストップと